

2005 年度日本野生動物医学会専門医認定試験二次試験問題（筆記試験）

【動物園動物医学】

1. *Toxoplasma gondii* に感受性の高い動物園動物を数種示し、本原虫感染による症状、病理解剖学および病理組織学的所見ならびに治療法と予防法について述べなさい。
2. 麻薬系薬剤以外の麻酔薬を用いた大型偶蹄類の麻酔方法および問題点について述べなさい。
3. 吹き矢型注射器の構造について図に示して説明しなさい。
4. 霊長類の検疫について、その必要性、適当な期間、検査項目について述べなさい。

【野生動物医学】

1. 野生動物を捕獲する際の 3 原則について述べよ。
2. 日本でみられる野生動物問題の例を 1 つあげ、その原因と対策までを含めて説明せよ。
3. 水鳥にみられる鉛中毒症の病理学的特徴を 5 つあげよ。
4. 歯による年齢査定方法には、「セメント質年輪による方法」、「萌出・交換および摩耗による方法」の 2 種がある。それぞれの手法について、手法、長所、短所を簡単に説明せよ。

【水族医学】

1. 水生動物の抗酸菌症について、感染動物種、それぞれの原因菌、症状・病理および対処法について記せ。

2. 新規の魚類を飼育施設に導入する際に必要な防疫措置について論ぜよ。
3. 近隣海岸に鯨類が座礁した場合を想定し下記の設問に答えよ。
 - 1) 生存の確認基準について述べよ。
 - 2) 「生存」の確認ができた場合の対処法について記せ。
 - 3) 「生存」の確認ができない場合の対処法について記せ。
4. 魚類の麻酔方法および麻酔深度の判断基準について述べよ。